

記

1 事業の導入及び取組の経過

那賀町内において、県の事業を活用し、研修会、放棄果樹等の伐採、追い払い活動、モンキードッグの導入、町単独の事業として、防護柵設置の補助を行った。

2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

対策を行っている集落では、被害の減少が確認できたが、町内全域での被害軽減にはつながっておらず、対策を行っていない地域での被害が減少しなかった。

ニホンジカ、イノシシの被害対策が主になっており、サルの被害対策が進んでいないため、サルによる被害が増加した。

3 実績及び改善計画

(様式) 被害防止計画の達成状況に係る部分

区分	指標	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
		目標 (28年)	計画 策定時 (25年)	1年目 (26年)	2年目 (27年)	3年目 (28年)		
被害防止計画 (被害 の軽減 目標)	被害金額 (千円)	33,290	36,630	40,510	35,570	35,590	57%	
	被害面積 (ha)	43.17	52.95	52.51	49.24	48.43	55%	

(注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。

2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。

3 各指標ごとの合計も記載すること。

4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

(様式) 施設の利用計画に係る部分

区 分	指 標	事業実施後の状況					改善計画			
		目 標 (28年)	計 画 策定時 (25年)	1年目 (26年)	2年目 (27年)	3年目 (28年)	改善計 画策定 (29年)	1年目 (29年)	2年目 (30年)	3年目 (31年)
鳥獣被 害防止 施設 (侵入 防止施 設)	利用量 (km, h a等)	9,000		3,420	9,420	16,020	9,000	3,000	6,000	9,000
	利用率 (%)					178%		-	-	100%
	収支差 (千円)									
	収支率 (%)									
	累 積 赤 字 (千円)									

(注) 1 利用率は、当該年度の数字を目標年度の数字で除して求める。

2 収支率は、収入／支出×100とする。

3 目標年が4年以上の取組等、必要に応じて、適宜欄を追加して記入すること。

4 協議会の構成員が申請する場合は、参画協議会名も記載すること。

5 区分の欄は、鳥獣被害防止施設，食肉利用等施設，捕獲技術高度化施設等と記載すること。

4 改善方策

研修会、放棄果樹等の伐採、追い払い活動の実施、町単独の防護柵設置の周知などを行い、町内全域で集落の育成を行い、総合的な対策を行うことで被害軽減に努める。

5 改善計画を実施するための推進体制

町協議会において、研修会の開催、防護柵設置の推進等を行う。また、阿佐地域鳥獣害防止広域協議会と連携し被害対策の情報共有等を行う。